

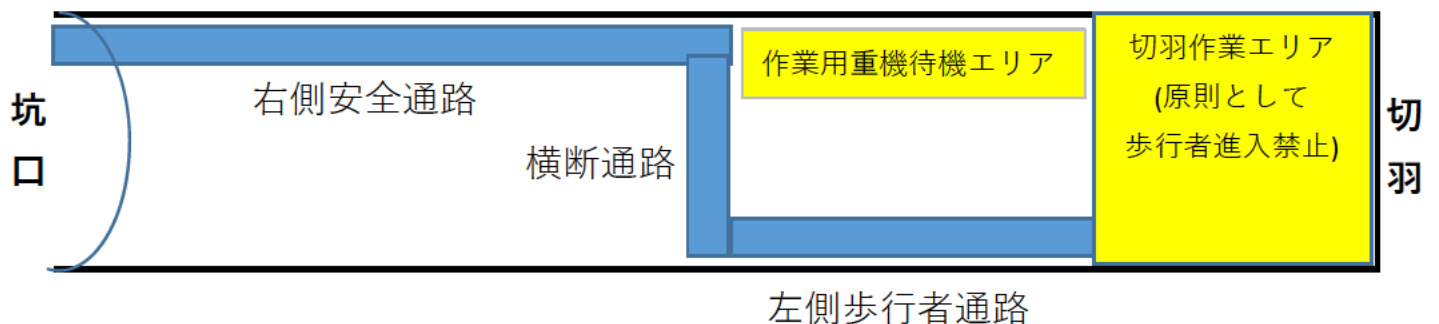
トンネル工事における坑内安全通路の見える化

トンネル工事では狭い坑内で何種かの大型重機が稼働することになることから、重機と人との接触事故が発生する恐れが大きい。

表示された安全通路以外を歩行者が通行するのが心理的に憚られるレベルまで、坑内の安全通路を整備し見える化することで、歩行者の車道への進入を防ぎ人と重機車両との接触事故防止を目指す。



坑内歩行者通路計画概要平面図



右側安全通路



坑口から切羽より約70m後方まで安全通路を整備した。整備の詳細は、

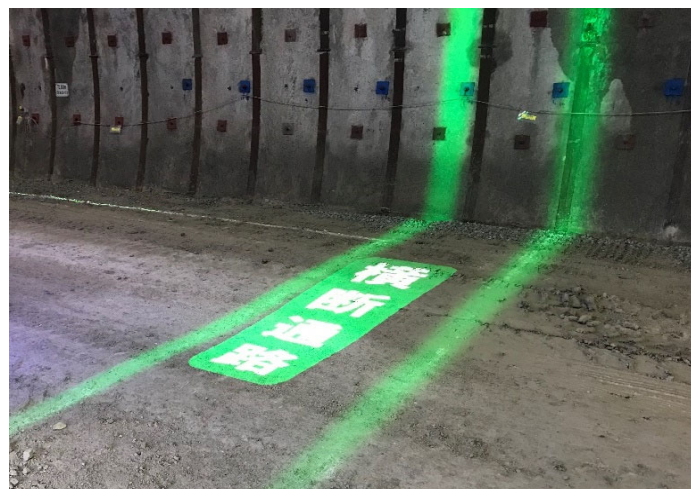
- ・コンクリート舗装
- ・チューブライトによる足元表示
- ・支柱とプラチェーンによる歩車道分離

右側安全通路終点



安全通路終点から先は、右側を重機類の待機所とするため、これ以上右側を物理的に通れないように計測小屋を設置するとともに、この先の通行方法を明示した。

横断通路



坑内の歩行者横断路を限定するため、ここが横断通路であることと歩行者通路の幅をプロジェクションにて明示した。

左側歩行者通路



横断後の切羽作業エリアまでの歩行者通路はトンネルの内空幅の制約により車道との完全分離は難しいものの、歩行者が通行する場所を限定するため、レーザー光にて明示した。